

ふるさと館 ニュース



飯山市ふるさと館
〒389-2253
飯山市大字飯山 1434-1
電話：0269-67-2030
FAX：0269-67-2030
e-mail: furusato@city.iiyama.nagano.jp

ご案内
【開館時間】
9:00～18:00
※入館は 17:30 まで
【休館日】
月曜日、年末年始
※祝日の場合は火曜日
【入館料】
大人 200円
子ども 100円

今月の文化財
▽第29番馬頭観音像
万仏山三十三観音石像
(市有形民俗文化財)
この三十三観音は、西国三十三観音である。第一番観音に「嘉永元年申四月」との銘記があり、1848年4月の造立であることがわかる。
造立された当初の原位置のままであり、福島新田の棚田と併せて貴重な景観である。

第3回総合学習センターフェスティバル ふるさと館イベント案内 『先人の知恵から学ぶ～いよいよの昔へタイムスリップ～』

10/4 (土) 4・5日は入館無料!
キミも縄文人に!
○ふるさと館縄文村オープン!
ふるさと館が縄文時代にタイムスリップ! 小中学生が建てた縄文時代の家が出現。当時の道具などにもふれることができます。
10:00 「縄文料理を作ってみよう!」
12:30 石器で木の実を潰したり、火をおこして縄文料理に挑戦。
10:00 「縄文人に変身!」(5日も同じ時間で行います)
16:30 縄文時代の衣装を着てみよう!
14:30 「縄文の道具を使ってみよう①～土器の模様付け体験～」(先着 50名)
15:30 縄文式土器の特徴の、様々な模様を付けたペーパーウエイトを作ります。
15:30 「縄文の道具を使ってみよう②～実際に道具にふれてみよう!」
16:30 飯山で出土した様々な道具にふれてみよう。これでキミも縄文人!
○伝統の技に挑戦!
10:00 「昔のハタで織ってみませんか?」
15:00 ハタ織りの達人による実演の他、糸つむぎ機・畳表織機などの体験ができます。
※どなたでも参加いただけます。すべての企画が参加費無料、当日受付です。

10/5 (日) ふるさと館をフル活用!
10:00～11:00 「縄文の道具を使ってみよう①～土器の模様付け体験～」(先着 50名)
11:00～12:00 「縄文の道具を使ってみよう②～実際に道具にふれてみよう!」
9:00～18:00 特別企画展「高橋まゆみ創作人形展 ～おかえりなさい ふるさと 飯山～」
全国巡回中の人形展がふるさと館にやってくる! 10月5日(日)のみ、入館料無料でご覧いただけます。

秋季企画展
飯山の石仏
「石が語るもうひとつの歴史」
9月9日(火)～10月3日(金)
特別企画展
『高橋まゆみ創作人形展』
日時：10月5日(日)～10月26日(日)
午前9時～午後6時
場所：飯山市ふるさと館
入館料：大人 200円 小中学生 100円
※市内小中学生は無料
休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)

シリーズ 飯山を語る No.10



飯山の温かさに惹かれて

スペシャルオリンピックス日本・長野
事務局長 伊澤 喜久子

跡的に雲が晴れて眺めた景色の美しさは今も眼の奥に焼き付いています。

東京から長野市に7年前に移り住んだ私が初めて飯山市を訪れたのは翌春でした。菜の花畑の下をゆつくりと流れる千曲川。文部省唱歌「おぼろ月夜」そのままの景色に喜んでいたら、足の悪い母にさらにうれしい「車椅子」の用意までされていました。

私はいま、知的障がい者に日常的なスポーツトレーニングと、その成果の発表の場である競技会を提供しながら、社会参加をも応援する国際組織、スペシャルオリンピックス(SO)の長野事務局長をしています。2005年には長野県でスペシャルオリンピックス冬季世界大会が開催されたことをご記憶の方も多いかと存じます。

私もSOのコーチとともに市内の小中学校を何度か訪問し、性別、年齢、障がいのあるなしにかかわらず、一丸となってスポーツを楽しんでいる飯山の方々の姿に接し、飯山は美しい自然に恵まれているだけではなく、一人ひとりの違いを受容し、支え合う寛容さのあるところだと感じています。

翌年の夏には、飯山の歴史と文化の語り部ともいえるべき信州大学の笹本正治先生のご案内で、市内の歴史遺産を見学、舞踊家の田中泯さんたちと小菅神社の奥社まで登る機会に恵まれました。小雨降る生憎の天気の中、参道の石に生えている苔に足を滑らせて5回も尻もちをつきながらも、奥社までたどり着いた時、奇

跡的に雲が晴れて眺めた景色の美しさは今も眼の奥に焼き付いています。

健康者の生徒さんが一緒にスポーツを楽しむ機会を持つようになりました。

ふるさと館 来館者の声 ～アンケートより～

- 土器、鎧、受け継がれる伝統など、勉強になった。
- 昔なつかしい大そろばんや、古めかしいスキーが懐かしかった。
- 昔は自然のものを利用していて、すごいと思った。
- 古いものを沢山集めてあり、良い形で残っていることがすごい。
- 市内に住んでいても来館したことがなかったが、来てみて良かったと嬉しく思った。
- 更なる進化を期待する。
- 昔の工夫している生活がわかった。
- ワークシートや標本などがあり、とてもわかりやすかった。
- 雪国の暮らしのことがよく分かる展示になっていて、興味深く拝見した。
- 地元力を感じられた。
- 実際に触れることができたので、理解が深まった。
- 素晴らしいものを、もっと多くの市民に知らせるべき。PR不足。

寄贈資料一覧

- ▽大塚 安雄 様 一本杖、畝立て機
- ▽宮本 嵩 様 信州大地震二附江戸表御届書写(古文書)
- ▽三井 寛 様 手づくね茶器類7点
- ▽滝沢 秀誉 様 唐傘、かんざし、煙管、打ち箱など約60点
- ▽坂本 とみ子 様 衣桁、そろばん、茶ひつ、手巻き煙草、大正琴、拍子木、櫛
- ▽島田 幸吉 様 足踏み式ミシン
- ▽上野 嵩 様 小倉百人一首
- ▽山崎 慎一 様 古文書類8点

※ふるさと館では、当館で所蔵していない資料の寄贈を随時受け付けております。寄贈いただいた資料は、大切に保存・活用させていただきます。

